



理念

- 1、乳幼児期の子どもの最善の利益を守る保育園
- 2、親・地域の多様な子育ての要求を受け止め、
助ける保育園
- 3、すべての子どもたちが健やかに育ち、すべての
ものの生命を大切に、平和な社会をめざす保育園

めざす子ども像

- 1、心身ともに健康な子ども
- 2、自分の要求を持ち、豊かに表現し
実現しようとする子ども
- 3、自分を大切に、仲間を大切にする子ども

保育目標

- 1、子どもの人格を尊重し、子どもの全面発達を保障する
- 2、保護者と子育てを共同する
- 3、保育園の社会的役割を果たす



うれしい四月。

新しい四月、

新しい空に。

新しいお日さま、

新しい枝に。

新しい葉っぱ、

新しい鞆に。

新しい脚本、

四月

みすず詩画集より

入園、進級おめでとうございます。

今年度は新入園児13名、定期利用児1名、全体で68名の園児で出発します。(3歳児1名、5歳児1名が定員割れになっています。)

先日、はと組の部屋に入ると、Hさんが私の所に来て突然「お母さん、怪我しちゃったの、サッカーで」と自分の足の親指を指さして教えてくれました。後日、母親にそのことを伝えると、サッカーで怪我をしたことがわかりました。

0歳児から入園したHさんは今年度2歳児クラスです。こんなふうに分の言葉で状況を伝える姿にずいぶん成長したんだなあと感じました。Hさんの思いはどうだったのだろうか？お母さんの足のけがの心配があったのだろうと、その子の心の成長も感じました。

連日、待機児問題や職員の処遇について、テレビや新聞報道で取り上げられています。職員が永く働き続けられるような条件は処遇の問題(給料、働き方)、保育運営をするにあたって悩みの大きな問題です。永く働き続けることによって、子どもとの関わりから接し方を学び研修を重ね、職員の専門職としての力がついていくと考えます。そのことは、子ども一人ひとりの発達保障、深く理解することにつながると思います。国会前でパパママさんが訴えている待機児解消に向けても、応援したいと思います。当園でできることとして、微力ながら今年度も定期利用児、1名を受け入れました。

今年度も職員一同、保護者の方と手つなぎして、こどもの育ちを援助できるよう努力していきます。

園長 岡本 友子

4月の予定

4月 1日(金) 新入園児対象 入園式

(慣れ保育期間中に職員は救命講習を受けたり、SIDSの学習をします)

14日(木) 鬼塚先生(嘱託医)を囲んで懇談会 新入園児の保護者の方、在園児の方もどうぞ
健康診断

21日(木) 身体測定

22日(金) 職員会議

26日(火) 体験保育

28日(木) 健康診断

